

5・6年 A年度

内容解説資料

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人によりよい関係を築くって？	4月 (2)	(内容項目を限定しない) 1 道徳が始まるよ	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのだろう。 ①教科書P4・5「道徳で学ぶ22のとびら」を見て、これまでの道徳科の学習を振り返りながら、道徳科ではどんなことを考えていくのか、改めて理解する。 ②教科書P6・7「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を見て、話し合いをするときに大切な「こつ」について理解する。 ③「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を使って、自分がどんなときに「かつこいいな。」と思うかについて話し合う。 ④教科書P8・9「道徳 みちあんない」を見て、これから1年間の学びの見通しをもつ。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	【自己を見つめる】 22の「とびら」を見て、自分のこれまでの生活やこれからの生き方に関わりが深いのはどの道徳的価値なのかを考えている。 【多面的・多角的に考える】 話し合いの「こつ」を使って話し合いながら、対話の大切さを意識し、友達の考えを聞くことで、自分の考えが深まったり、新たな視点に気づいたりすることを確認し、さらに自分の考えに生かしている。	
	4月 (3)	【自分の役割を果たす】 C(16)よりよい学校生活、 集団生活の充実 2 わたしは飼育委員	委員会の仕事に不満を感じる加菜が変容する姿などを通して、自分の役割を果たすためにはどんなことが大切かを考えさせ、集団における自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする実践意欲を育てる。	★自分の役割を果たすためには、どんなことが大切なのだろう。 ①はじめに「読むときには」「話し合ったり、書いたりするときには」を読んで、それぞれの留意点を確認する。P11-14の吹き出しは、教材を読みながら確認していくことを伝える。 ②「わたしは飼育委員」を読み、加菜はどうして「自分だけ損をしているような気がした」のかを考え、発表する。 ③加菜の足取りを軽く感じさせたものは何だったのかを考え、話し合う。 ④クラスや学校の中で、どんな仕事を任されているか、また、その役割を果たすためにはどんなことが大切かを考え、発表する。 ▼これまで、先生や上級生たちのおかげで気持ちよく生活できていたと思うのは、どんなことかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○集団における自分の役割を自覚し、責任を果たすことの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 学校で自分が任されている仕事に、自分はどのように取り組んでいるかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分が果たす役割の重要さや、それが学校をどう支えているのかについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 クラスや学校という集団を支えているのは自分たち自身であるということ踏まえ、どんな気持ちで自分の役割を果たしていこうかと考えている。	特別活動(児童会活動) キャリア教育 社会参画に関する教育
	4月 (4)	【夢をかなえるために】 A(5)希望と勇気、努力と強い意志 3 夢を実現するためには	野球選手の大谷翔平さんの実践などを通して、夢や目標を実現するのに大切なのはどんなことかを考えさせ、夢や目標を設定し、その達成を目指して努力しようとする実践意欲を育てる。	★夢や目標を実現するために大切なのは、どんなことだろう。 ①かなえたい夢や目標をどう実現していくかについて考えたことがあるか、出し合う。 ②「夢を実現するためには」を読み、大谷選手はどんな思いで「目標達成シート」に当時の夢を書き込んだのかを考え、発表する。 ③大谷選手はどうして夢を実現することができたのかを考え、話し合う。 ④5年生の目標を達成するために、「目標達成シート」を書いて、発表する。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○夢や目標を設定し、その達成を目指して努力しようとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 夢や目標を実現するためにどんなことをしているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 夢や目標をもつことの大切さだけでなく、夢を実現させるためにはさまざまな道筋があることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 目標を立てることや、目標を目指して具体的に努力することについて考え、それを自分の生活に生かしていこうとしている。	特別活動(学級活動) キャリア教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって？	5月 (2)	【節度を守って】 A (3) 節度、節制 4 流行おくれ	家族の言葉で身の回りの乱れを 気にし始めるまゆみの姿などを 通して、節度ある生活を送るた めに大切なのはどんなことを考 えさせ、進んで生活を見直し、 節度ある生活しようとする判 断力を育てる。	★節度ある生活を送るために大切なのは、どんなことだろう。 ①「節度」という言葉の意味を確認する。 ②「流行おくれ」を読み、わざと大きな足音を立てて自分の 部屋へ駆け上がっているとき、まゆみはどんなことを思 っていたかを考え、発表する。 ③母やわたるの言葉から、まゆみはどんなことを考えたか を想像し、話し合う。 ④「節度ある生活」とはどういうものかを考え、話し合う。 ▼自分の生活の中でこれだけは直したいと思うことを、家 族や友達に伝える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分の生活を進んで見直し、節度ある生活しようとするこ とについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 節度のある生活を送っているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の生活の改善すべき点を見つめることの大切さと難し さなどのさまざまな面から、節度ある生活についての考え を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 節度を守ることは大切だが簡単ではないことを踏まえ、活 力のある生活を築くためにどんな心を大切にしていこうか と考えている。	消費者教育
	5月 (3)	【親切とは】 B (7) 親切、思いやり 5 道案内	「ぼく」たちと中学生の道案内 のしかたの違いなどを通して、 親切な行いをするときに必要な ことは何かを考えさせ、相手の 状況や気持ちを考え、進んで親 切にしようとする実践意欲を育 てる。	★親切な行いをするときに必要なことは、何だろう。 ①最近誰かにした親切は、どんなことかを思い起こし、出 し合う。 ②「道案内」を読み、「やっぱり、いいことをした後は気持ち がいいなあ。」とうなずき合ったとき、「ぼく」と木村くん は、どんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ③「ぼくたち、少し足りなかったのかな。」と言ったとき、木村 くんはどんなことを考えていたかを想像し、話し合う。 ④親切な行いをするときに必要なことはどんなことかを考 え、話し合う。 ▼親切にしたいって思ったら、どういう行動ができるかを これからも考えていくことを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○相手の状況や気持ちを考え、進んで親切にしようとするこ とについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 誰かに親切にするときに、自分はどんなことを大切にしてい きたかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 相手の立場に立って考えることのよさと難しさの両面か ら、相手のためになる言動をすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手にとって本当に必要な親切をするために、どんなこと を大切にしていこうかと考えている。	図書館活用 共生 福祉に関する教育
	5月 (4)	【責任ある行動とは】 A (1) 善悪の判断、自律、 自由と責任 6 いこいの広場	公園でキャッチボールをする中 学生と、注意する男性の言い合 いを見た「ぼく」の姿などを通し て、責任ある行動とはどんなも のかを考えさせ、状況に応じて 自律的に考え、行動しようとし る判断力を育てる。	★責任ある行動とは、どんなものだろう。 ①広場や公園とはどんな場所か、どんな人が何のために来 る所かを考え、出し合う。 ②「いこいの広場」を読み、二人の中学生がキャッチボール をしているのを見て、「ぼく」がなんとなく気になっていた のはなぜかを考え、発表する。 ③「それにここは、みんなの広場だろう。」という中学生の 言葉を聞いたとき、「ぼく」はどう思ったかを考え、話し 合う。 ④二人の中学生がどのようなことを考えればよかったと思 うかを考え、発表する。 ▼自分で考えて行動することが難しくなったときに、本時 で学んだことを思い出すように促す。 ▼「考えるヒント」(道徳で使う言葉)を読み、発表や話 し合いの場面で活用する。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○その場の状況に応じて自律的に考え、行動しようとするこ の大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、自分の行動の影響を考え、それに責任をもとうとし ているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自由に振る舞うことと自分勝手に振る舞うことの違いに目 を向け、責任ある行動についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の行動に責任をもつために、どんなことに気をつけて 行動すればよいかと考えている。	共生 安全教育 社会参画に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって？	適宜	★学びのじゅんぴ★ 「世界人権宣言」を読んでみよう C (12) 規則の尊重 次の「世界人権宣言から学ぼう」の学習の準備として、教科書P82～84の「世界人権宣言」の条文を読み、読んだ中で自分がいいなと思った条文をノートなどに書き出しておく。				
	6月 (1)	【大切な権利】 C (12) 規則の尊重 7 (13) 世界人権宣言から 学ぼう	「世界人権宣言」が作られた背景や、条文が表す意味を学ぶ活動などを通して、人権に関する考えを深め、自他の権利を尊重し合い、義務を果たしてよりよい社会にしようとする実践意欲を育てる。	★世界人権宣言から学ぼう。 ①「人権」とは、どういう意味かを考え、出し合う。 ②「世界人権宣言から学ぼう」を読み、いいなと思った世界人権宣言の条文はどれか、また、どんなところがいいなと思ったかを発表する。 ▼「考えるヒント」(こんな活動で考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ③人権が守られることにはどんなよさがあるかを考え、話し合う。 ▼自分たちのクラスで特に大事にしたい条文はどれか、みんなで考える。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○世界人権宣言の条文を読み、自他の権利を尊重し合うことで、どのようなよいことがあるかを考え、自分の普段の行動につなげて考えられている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 人権に対してどのような考えをもっているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな立場から権利を捉えることで、権利が守られることの大切さについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 人権が守られることのよさに触れたうえで、自他の権利を尊重するために、どんなことを大切にしていこうかと考えている。	社会科 共生 社会参画に関する教育 法教育
	適宜	★心を通わそう★ 相手のことを思いやって言葉をかけよう B (7) 親切、思いやり／B (11) 相互理解、寛容 年間を通して、適宜、「相手のことを思いやって言葉をかけよう」を読み、温かい言葉をかけ合う活動を通して、思いやりをもって友達のことを理解しようとする意識をもつ。				
	6月 (2)	いじめを許さない心 【理解し合うために】 B (11) 相互理解、寛容 8 みんな、おかしいよ！	「わたし」(和花)の友達との関わり方などを通して、相手と理解し合うために大切なことを考えさせ、自分の考えや意見を適切に相手に伝え、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする実践意欲を育てる。	▼友達とよりよい関係を築くためにはどうしたらよいかを、「みんな、おかしいよ！」と「ドッジボール対決」を通して考えることを確認する。 ★相手と理解し合うためには、どんなことが大切なのだろう。 ①友達とうまく理解し合えなかったことがあるかを振り返る。 ②「みんな、おかしいよ！」を読み、登場人物の言い分を整理し、確かめる。 ③「わたし」(和花)は、どうして本当のことを言ったら友達が減っているのかを考え、発表する。 ④絵里子はどんな思いで、真紀に「言い方がちょっときついんだよ。」と言ったのかを考え、話し合う。 ⑤相手に自分の気持ちを伝えるのが難しいと感じたことはあるかを振り返り、相手と理解し合うためにはどんなことが大切なのかを考え、話し合う。 ▼次の「ドッジボール対決」を学んだ後、教科書P48・49のコラム「おたがいを大切にしよう」を読み、友達とよりよい関係を築くことについて、さらに考えを深める。 ⑥巻末「学びの記録」に記入する。	○自分の考えや意見を適切に相手に伝え、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は相手の気持ちを理解しながら関わっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 異なる考えをもつ相手を理解し尊重することの大切さや難しさについて、考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の考えを伝えることや、広い心で異なる意見や立場を尊重することの大切さを意識したうえで、自分のこれからの在り方について考えている。	図書館活用 いじめ問題 共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
周りの人とよりよい関係を築くって？	6月 (3)	【たがいに高め合いながら】 B (10) 友情、信頼 9 ドッジボール対決	力を合わせることの見解の違いに悩む真の姿などを通して、互いに高め合える友情とはどんなものかを考えさせ、友達と信頼し合い、協力して学び合いながら友情を深めていこうとする心情を育てる。	★おたがいに高め合うことのできる友情とは、どんなものだろう。 ①友達と何かをするために、別の友達に何かをがまんしてもらったことはあるかを振り返り、出し合う。 ②「ドッジボール対決」を読み、「ぼく」はどんな気持ちでドッジボール対決を提案したのかを考え、発表する。 ③都に「真くんのクラスの力を合わせるって、そういうことなの？」と言われたとき、「ぼく」はどんなことを考えたのかを想像し、話し合う。 ④この後、「ぼく」はクラスのみんなにどんなことを話すかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書P47の「考えるヒント」(演じて考えよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ▼性別に関わりなく高め合える友情について考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○友達と信頼し合い、協力して学び合いながら友情を深めていこうとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達との関わり方について、これまでの自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 1対1の友達関係と集団における友達関係の両面から、互いに協力し高め合う友情について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから、どのようによりよい友達関係をつくっていくのかと考えている。	特別活動(学級活動) いじめ問題 共生
	適宜	★コラム★ 〈いじめを許さない心〉 おたがいを大切にしよう B (10) 友情、信頼／B (11) 相互理解、寛容／C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実				いじめ問題 共生
	6月 (4)	【命の大切さ】 D (19) 生命の尊さ 10 命の詩—— 電池が切れるまで	宮越由貴奈さんが書いた命の詩やエピソードなどを通して、命の大切さについて考えさせ、限りある命を懸命に生きることの尊さを感じ取り、自分らしく精いっぱい生きようとする心情を育てる。	★命の大切さについて、考えよう。 ①自分にとって、命ってどんなものかを考え、出し合う。 ②「命の詩——電池が切れるまで」を読み、「命」という詩でゆきなさんが伝えたかったことは何かを考え、発表する。 ③「精いっぱい生きる」とはどういう生き方をするのかを考え、話し合う。 ▼ゆきなさんが精いっぱい生きた姿を、より深く知ることのできる本を読む。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○限りある命を懸命に生きることの尊さを感じ取り、自分らしく精いっぱい生きようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 命について、これまでの自分はどんな考えをもっていたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、大切な命を精いっぱい生きることについて、さまざまな捉え方があることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の命を精いっぱい生きるために、自分はどのように考えている。	図書館活用 いじめ問題
	7月 (1)	自然と共に 【自然を大切に】 D (20) 自然愛護 11 一ふみ十年	高山植物を守り続ける人の話を聞き、自然の不思議さを感じる勇の姿などを通して、自然とのよりよい関わりについて考えさせ、自然環境を大切にしていこうとする心情を育てる。	▼自分を取り巻く環境について、「一ふみ十年」と「宇宙から見たもの」を通して考えることを確認する。 ★自然とのよりよい関わりについて、考えよう。 ①ついっっかり、自然を傷つけてしまった経験があるかを思い出し、出し合う。 ②「一ふみ十年」を読み、「遊歩道から出ないでください。」と言われたとき、勇はどんな気持ちだったのかを考え、発表する。 ③「一ふみ十年」という言葉を知って、勇はどんなことを考えたのかを想像し、話し合う。 ④「自然はすごいな。」「すばらしいな。」と思ったことはあるか、また、それはどんなときかを思い起こし、発表する。 ▼自然と触れ合う機会に、本時の学びを思い出すことを確認する。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自然とのよりよい関わり方と、自然環境を大切にしていこうとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでに自然を大切にしてきたか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えを基に、人の力の及ばない自然のすばらしさや、人と自然の関わり方についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自然のすばらしさを意識したうえで、これからの自分はどうのように自然と関わっていくのかと考えている。	理科 総合的な学習の時間 環境教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動 (中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動 (▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
周りの人 とよりよい 関係を築く って？	7月 (2)	【すばらしさを感じる心】 D (21) 感動、畏敬の念 1 2 宇宙から見えたもの	宇宙から見た地球の様子を文章 と写真で見つめることなどを通 して、宇宙の広がりについて思い をはせ、美しいものや気高いもの への感動や、人間の力を超えたも のへの畏敬の念を大切にしよう とする心情を育てる。	★宇宙の広がりについて、思いをはせよう。 ①宇宙と自分のつながりについて考えたことはあるかを振 り返り、出し合う。 ②「宇宙から見えたもの」を読み、いちばん心に残ったのは どんなところか、理由といっしょに発表する。 ③美しいものやすばらしいものを見て感動したことがある か、また、それはどんなときかを思い起こし、発表する。 ▼教科書 P68・69 のコラム『地球温暖化』を知ろう』を読 み、環境についての考えを深める。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○美しいものや気高いものへの感動や、人間の力を超えたもの への畏敬の念を大切にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分が感動した美しいものやすばらしいものには、どんな ものがあるかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、人の心を打つ事象や出来事はたくさん あることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 美しいものやすばらしいものを素直に「美しい」「すばらし い」と感じることや、その心を大切にしていこうと考えて いる。	理科 環境教育	
	適宜	★コラム★ 〈自然と共に〉 「地球温暖化」を知ろう A (3) 節度、節制／D (20) 自然愛護／D (21) 感動、畏敬の念					理科 環境教育
	○「学習のまとめ」を振り返った評価 (4～7月) ここまで学んだ、【C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【A (3) 節度、節制】【B (7) 親切、思いやり】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (12) 規則の 尊重】【B (11) 相互理解、寛容】【B (10) 友情、信頼】【D (19) 生命の尊さ】【D (20) 自然愛護】【D (21) 感動、畏敬の念】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との 関わりの中で深めているかなどに着目する。						
広い 視野で 人や 社会 と関 わる って？	適宜	★「考える」じゅんぴたいそう★ 話し合いながら考えを深めていくことが上手になるように、教科書 P71 の「進め方」に即して、テーマを決めて話し合い、これからの学習に生かす。					
	9月 (1)	【安全に生活するために】 A (3) 節度、節制 1 3 自分の身は自分で守る	「わたし」が避難訓練で思ったこ とや、「ぼく」が交通事故を起こ して思ったことなどを通して、 安全な生活には何が大切かを考 えさせ、安全に関する意識を高 め、節度ある生活をしようとし る実践意欲を育てる。	★安全に生活するためには、どんなことが大切なのだろう。 ①安全に生活するためにどんなことに気をつけているかを 振り返り、出し合う。 ②「①」の文章を読み、「自分の身は自分で守る」と心の中 で繰り返した「わたし」は、どんなことを考えていたのかを 想像し、発表する。 ③「②」の文章を読み、「自分の身は自分で守る」という言葉 は、事故を起こさないように気をつけることと、どんな ところがつながっているのかを考え、発表する。 ④自分や周りの人々の安全のために、どんなことに気をつけ ていきたいと思うかを考え、話し合う。 ▼教科書 P76 の「考えるヒント」(図を使って考えよう)、教科 書 P188 の「学びの道具箱」(フィッシュボーン)を適宜、 活用する。 ▼子どもが犯罪に巻き込まれることを防ぐための合言葉 「つみきおに」について調べる。 ▼教科書 P190 の「日本各地で取り組む『防災活動』」を見 る。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○安全に関する意識を高め、節度ある生活をしようすること について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 安全に生活するために、自分はどんなことを大切にしてい るかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな状況を想定して、自分の身を自分で守ることに ついての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 安全に十分に注意を払い、自分の身を自分で守るためには、 どのような意識をもつことが大切かを考えている。	特別活動 (学校行事) 安全教育 防災教育	

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって？	9月 (2)	【誠実に生きる】 A (2) 正直、誠実 14 (29) 千羽づる	友達との約束を破り、うそをついてごまかしてしまった南の姿を通して、誠実に生きるにはどんな考えがあればよいのかを考えさせ、自分自身に誠実に明るい心で生活しようとする心情を育てる。	★誠実に生きるには、どんな考えがあればよいのだろうか。 ①「誠実」とは、どういう意味かを確認する。 ②「千羽づる」を読み、熱が出て鶴が折れなかったと言ったとき、南はどんなことを思っていたかを想像し、出し合う。 ③黙っていれば分からないのに、南はどうして悩んでいるのかを考え、話し合う。 ④誠実に生きるにはどんな考えが大切なのかを考え、話し合う。 ▼うそをつくのはいけないと分かっているが、人はなぜうそをついてしまうのかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分自身に誠実に明るい心で生活することの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 誠実であることが大切なのはわかっているのに、そうできなかった経験がないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 誠実でいたいと願うことと、実際に誠実ではいられなくなってしまうことの両面から、誠実に生きることの大切さと難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分自身に誠実であるために、どんな心を大切にすればよいかを考えている。	
	9月 (3)	情報と向き合う 【礼儀とは】 B (9) 礼儀 15 あいさつって	三つの出来事から挨拶や礼儀について考える「ぼく」の姿などを通して、挨拶や礼儀はなぜ大切なのかを考えさせ、相手の立場や気持ちを考えて心の籠もった接し方をしようとする判断力を育てる。	▼情報との向き合い方について、「あいさつって」を通して考えることを確認する。 ★あいさつや礼儀は、なぜ大切なのだろう。 ①誰に対してもきちんと挨拶ができているかを振り返り、発表する。 ②「①」の出来事を読み、母に「きちんとあいさつもできないの？」と言われた「ぼく」は、どんなことを思っていたかを想像し、発表する。 ③「②」の出来事を読み、通り過ぎていった男子にむつとした「ぼく」はどんなことを思っていたか、また、この前の土曜日のことを思い出した「ぼく」はどんなことを考えたかを想像し、発表する。 ④「③」の出来事を読み、「ぼく」が分かったような気がした「あいさつや礼儀が大切なわけ」とはどんなことか考え、話し合う。 ▼教科書P84・85のコラム「インターネットの特性とマナー」を読み、インターネット上での礼儀について考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○相手の立場や気持ちを考えて心の籠もった接し方をしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段の挨拶をどのように行っているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな状況、また、さまざまな相手に対する挨拶や礼儀を想定して、挨拶や礼儀の意義についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 気持ちのよい挨拶が周囲に与える影響を踏まえて、そのような挨拶や、礼儀正しい行動ができる自分であるためには、どんなことを大切にしていこうかと考えている。	国語科 情報モラル
	適宜	★コラム★ 〈情報と向き合う〉 インターネットの特性とマナー A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任／B (9) 礼儀／B (11) 相互理解、寛容				情報モラル
	9月 (4)	【友達とは】 B (10) 友情、信頼 16 (17) コスモスの花	みんなから称賛される北山を快く思えないまま、彼に対するクラスメートの意地悪な声を思わず止める「ぼく」の姿などを通して、友達とはどんな存在なのかを考えさせ、よさを認め合い、よりよい友達関係を築こうとする心情を育てる。	★友達とは、どんな存在なのだろう。 ①自分にとって、友達とはどんな人のことか考え、出し合う。 ②「コスモスの花」を読み、「ぼく」が北山に初めて抱いた「北山なんて——。」という気持ちには、どんな思いが籠もっていたかを考え、発表する。 ▼「考えるヒント」(こんな活動で考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ③「ぼく」がどうして「やめろよ——。」と言ったのかを考え、話し合う。 ④友達とはどんな存在なのかを考え、話し合う。 ▼「ロレンゾの友達」と本時で学んだことをつなげて考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○友達とはどんな存在なのかを考え、よりよい友達関係の在り方について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にとって友達とはどのような存在だと考えてきたか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 仲のよい友達に対しても複雑な思いを抱いてしまうことがあることを踏まえて、健全な友達関係を築くことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達とはどのような存在なのかについて自分なりの考えをもち、友達とよりよい関係を築くにはどうすればよいかと考えている。	図書館活用 いじめ問題

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ（★）・学習活動（中心的な活動は黒丸数字） 適宜取り組むことが有効な学習活動（▼）	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
広い視野で人や社会と関わるって？	10月 (1)	【自分の役割を知る】 C (16) よりよい学校生活、 集団生活の充実 17 (6) 子ども会のキャンプ	子ども会のキャンプで、班長として努力する明葉の姿などを通して、役割を果たすために大切なことを考えさせ、自分の役割を自覚し、責任をもって果たそうとする判断力を育てる。	★自分の役割を果たすためには、どんな考えが大切なのだろう。 ①最高学年として自分が果たしている役割には、どんなものがあるかを考え、出し合う。 ②「子ども会のキャンプ」を読み、みんなに詰め寄せられたとき、明葉はどんな気持ちだったかを考え、発表する。 ③このキャンプは、なぜ明葉の心に残る思い出となったのかを考え、話し合う。 ④役割を果たすためにはどんな考えが大切かを話し合う。 ▼最高学年として、さまざまな役割を任されるようになって、本時で学んだことは、どんなときに生かせるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○集団における自分の役割を自覚し、責任をもって果たすことの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の役割を自覚し、集団生活を充実させるような行動を取っているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 集団における自分の役割を果たすことの難しさと大切さの両面から、責任を果たそうとすることについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 集団での自分の役割を自覚し、それを果たすために、どんなことを大切にしていこうかと考えている。	社会参画に関する教育	
	適宜	★なんだろう なんだろう★ 生きる「しあわせ」って、なんだろう。 関連する内容項目 D (22) よりよく生きる喜び A (4) 個性の伸長／C (15) 家族愛、家庭生活の充実 家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「生きる幸せ」とは何なのか、考えてみる。					
	10月 (2)	【つながる命】 D (19) 生命の尊さ 18 三十八億年の命	全ての命は38億年も前からつながっているという話などを通して、「命」は、誰のものなのかを考えさせ、つながりの中にある生命のかけがえのなさを自覚し、生命を大切に生きていくとする心情を育てる。	★命は、だれのものだろう。 ①「命のつながり」という言葉から、思い浮かんだ「つながり」を出し合う。 ②「三十八億年の命」を読み、筆者はどうして「命は、あなただけのものではない」と言っているのかを考え、発表する。 ③「命は、あなただけのものではない」ということについて、どんなことを考えたかを出し合い、話し合う。 ▼命のつながりについて書かれた本を読む。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○つながりの中にある生命のかけがえのなさを自覚し、生命を大切に生きていくことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 命のつながりとは自分にとってどのようなものかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 命は全ての生き物とつながっていること、生命の神秘さ、一人一人がたった一つのかけがえのない存在であることなど、命をさまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 多くの命とつながり合っている自分の存在を意識したうえで、自分はこれからどう行動していこうかと考えている。	理科 図書館活用	
	適宜	★感じよう いのち★ 命のつながりを感じよう！ D (19) 生命の尊さ 「生き物年表」を書くことを通して、38億年の命のつながりを実感し、命を大切にしようとする気持ちをもつ。					いじめ問題 理科
○「前期」を振り返った評価（4月～10月2週目） ここまで学んだ、【C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【A (3) 節度、節制】【B (7) 親切、思いやり】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (12) 規則の尊重】【B (11) 相互理解、寛容】【B (10) 友情、信頼】【D (19) 生命の尊さ】【D (20) 自然愛護】【D (21) 感動、畏敬の念】【A (3) 節度、節制】【A (2) 正直、誠実】【B (9) 礼儀】【B (10) 友情、信頼】【C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実】【D (19) 生命の尊さ】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。							

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって？	10月 (3)	【相手の思いに込めて】 B (8) 感謝 19 おばあちゃんからもらった命	命を守ってくれたおばあさんへの感謝を忘れないめぐみさんの姿などを通して、相手の思いに応えるためにできることを考えさせ、温かなつながりに感謝し、善意に応えようとする実践意欲を育てる。	★相手の思いに応えるためにできることは、何だろう。 ①家族に感謝するのはどんなときかを考え、出し合う。 ②「おばあちゃんからもらった命」を読み、「今度は、わたしがおん返しをする番です。」というめぐみさんの言葉には、どんな思いが込められているかを考え、話し合う。 ③「おん返し」したい人がいるか、また、その人にどんな恩返しをしたいかを考え、発表する。 ▼恩返しをしたい人に、その思いを伝える。 ▼教科書 P190 の「日本各地で取り組む『防災活動』」を見る。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○人と人の温かなつながりに感謝し、善意に応えようとするこの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 家族に対して感謝の気持ちをもつことができているか、また、それを表すことができているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達のことを聞き、家族に対して感謝の気持ちをもち、それを表そうとすることの意義についての考えを深めている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分を支えてくれている人の思いに応えるために、自分には何ができるかを考えている。	防災教育
	10月 (4)	【家族に対する思い】 C (15) 家族愛、家庭生活の充実 20 (31) ぼくの名前呼んで	聴覚障害者の両親に不満をぶつける太郎と、誇り高く生きるよう伝える父親の姿などを通して、この家族が教えてくれるものを考えさせ、父母を敬愛し、家族の幸せに貢献しようとする実践意欲を育てる。	★「ぼくの名前呼んで」にえがかれている家族は、あなたに何を教えてくれるだろう。 ①「ぼくの名前呼んで」を読み、太郎はどんな思いで「ぼくの名前呼んで。」と言ったのかを考え、発表する。 ②父の手話から両親の思いを知った太郎は、どんなことを思ったかを考え、話し合う。 ③「ぼくの名前呼んで」を読んで、家族についてどんなことを考えたかを話し合う。 ▼本時で家族について考えたことを基に、家族の一員として自分にはどんなことができるかを考える。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○父母を敬愛し、家族の幸せに貢献しようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は普段、家族に対してどのような思いをもっているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の姿や友達のことを基に、家族の一人一人が、家族に対してそれぞれに多様な思いをもっていることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 家族との信頼関係を築き、家族の幸せに貢献するために、自分はどんなことをしていこうかと考えている。	共生 福祉に関する教育
	11月 (1)	【郷土を大切に】 C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 21 ようこそ、菅島へ！	訪れる人に、島のよさを伝えようとがんばる順平の姿などを通して、国や郷土を大切にする心について考えさせ、先人の努力を知り、国や郷土の自然や文化を大切に、発展させていこうとする心情を育てる。	★郷土を大切にすることに、考えよう。 ①住んでいる地域の自慢を考え、出し合う。 ②「ようこそ、菅島へ！」を読み、順平はどんなことを考えながらガイドをしているのかを想像し、発表する。 ③順平は、どうして島について伝えたいことが後から後からあふれてきたのかを考え、話し合う。 ④自分の生まれた所や住んでいる地域のよさや魅力はどんなことかを考え、発表する。 ▼日本を訪れた外国の人に、自分の地域や日本のよさ、伝統や文化を紹介するなら、どんなところを紹介したいか考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○先人の努力を知り、国や郷土の自然や文化を大切に、発展させていこうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 生まれ育ってきた郷土とその伝統や文化について、自分はどんな考えをもっているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達のことを聞き、自分の地域にあるさまざまなよさや魅力について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分自身が郷土とその伝統や文化の担い手であることを意識したうえで、自分にもできることはないかと考えている。	総合的な学習の時間 特別活動(児童会活動) 伝統文化教育
	11月 (2)	【真実を求めて】 A (6) 真理の探究 22 (28) サバクトビバッタを追いかけて〈昆虫学者・前野浩太郎〉	サバクトビバッタについての常識や定説を疑い、疑問をもって研究を続ける前野浩太郎氏の姿などを通して、真理を探究しようとする心について考えさせ、本質を見極めようとする実践意欲を育てる。	★真理を探究しようとする心とは、どんなものだろう。 ①何かを知りたくてたまらないと思ったことはあるか、振り返る。 ②「サバクトビバッタを追いかけて〈昆虫学者・前野浩太郎〉」を読み、前野さんの探究する姿で、おもしろいな、すごいなと思ったのはどんなところかを考え、発表する。 ③前野さんの探究する姿は、どんな思いに支えられているのかを考え、話し合う。 ▼真理を探究した人の本を読む。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○真理を探究しようとするときに抱く思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 何かを知りたいという思いにどのように向き合っているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達のことを基に、物事を探究しようとする心の在り方について、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 疑問に思ったことやわからないことをそのままにしておくことなく、探求することによって新しいものを生み出していこうと考えている。	理科 図書館活用 キャリア教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって？	11月 (3)	【他国の人々を理解して】 C (18) 国際理解、国際親善 23 小さな国際親善大使	国ごとの文化の違いに関心を抱く芽衣の姿などを通して、他国の習慣や文化を理解することの大切さを考えさせ、他国への関心や理解を深め、他国の習慣や文化を尊重し、国際親善に努めようとする心情を育てる。	★他国の習慣や文化を理解することは、なぜ大切なのだろう。 ①「国際親善大使」とは何かを確認する。 ②「小さな国際親善大使」を読み、お兄さんから料理を残したわけを聞いたとき、芽衣はどんなことを考えたのかを想像し、発表する。 ③笑顔になった女の人たちを見て、芽衣はどんなことを考えたかを想像し、発表する。 ④「だれもが国際親善大使になれるはずだよ。」という言葉について、どんなことを考えたかを話し合う。 ▼他国の文化について知ることができる本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○他国への関心や理解を深め、他国の習慣や文化を尊重し、国際親善に努めようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の国の文化や習慣と異なるものに会ったとき、自分はどのように感じるかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 他の国の人々も、自分の国の伝統と文化に愛着や誇りをもって生きていることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 他の国への関心や理解を深め、互いを尊重し合うために、自分はどんな心を大切にしたいかを考えている。	総合的な学習の時間 図書館活用 共生 国際理解教育 食育
	11月 (4)	【社会に役立つとは】 C (14) 勤労、公共の精神 24 クール・ボランティア	ボランティア活動への見方が変わる信二の姿などを通して、ボランティア活動を支える心について考えさせ、勤労や社会奉仕の意義ややりがい理解し、公共のために役立つとする心情を育てる。	★ボランティア活動を支える心について、考えよう。 ①何かのボランティア活動に取り組んだことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「クール・ボランティア」を読み、「どうせやるなら、かっこいいほうがいいじゃないか。」と言った信二が思っていたボランティアとはどんなものかを考え、発表する。 ③「これがクール・ボランティアだよ」と言われた信二は、どんなことを考えたのかを想像し、話し合う。 ④ボランティア活動は人々のどんな気持ちに支えられているかを考え、話し合う。 ▼これから挑戦してみたいボランティア活動を考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○勤労や社会奉仕の意義ややりがいを理解し、公共のために役立つとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 ボランティア活動に参加しているか、また、どんな気持ちで取り組んでいるかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 仕事をする事の尊さや満足感、仕事を成し遂げた際の喜びや手応えなどのさまざまな面から、働く意義や社会に奉仕する喜びについて考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 社会のために働くことについて自分なりの考えをもち、自分にはどんなことができるかを考えている。	特別活動(児童会活動) 図書館活用 キャリア教育 社会参画に関する教育
	適宜	★学びのじゅんぴ★ 「自分らしさ」について考えてみよう A (4) 個性の伸長 次の『『自分らしさ』を見つめよう』の学習の準備として、教科書 P131・132 の資料「手塚治虫が見つけた『自分の道』」を読み、手塚さんの「自分らしさ」や、自分自身の「自分らしさ」について考えておく。				
	12月 (1)	【自分らしさを知る】 A (4) 個性の伸長 25 「自分らしさ」を見つめよう	「自分らしさ」の窓を完成させる活動や、手塚治虫氏のエピソードなどを通して、さまざまな自分を知り「自分らしさ」を見つめさせ、自分の特徴に目を向け、長所を伸ばしていこうとする実践意欲を育てる。	★いろいろな自分を知り、「自分らしさ」を見つめよう。 ①自分の「いいところ」は何かを考え、出し合う。 ②グループで、それぞれの『『自分らしさ』のまど』を完成させ、気がついたことや考えたことをまとめる。 ③友達や自分のいいところを見つけ合う活動を通して、考えたことを発表する。 ④「自分らしさ」を見つめることができると、どんないいことがあるかを考え、発表する。 ▼これから、どんな「自分らしさ」を伸ばしていきたいかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○自分の特徴に目を向け、長所を伸ばすことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にはどのような特徴があるか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分自身をさまざまな観点や方法で見つめ、たくさんの自分らしさに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分らしさを伸ばすことについて自分なりの考えをもち、これからどのように自分と向かい合っていこうかと考えている。	特別活動(学級活動) 図書館活用 キャリア教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
広い視野で人や社会と関わるって？	12月 (2)	共に生きる 【分かり合うために】 B (11) 相互理解、寛容 26 プランコ乗りとピエロ	対立する二人が互いを許し認め合い、サーカスを成功させる姿などを通して、考えの違う者どうしが関わり合って暮らすために必要な心を考えさせ、広い心で相手の思いや立場を尊重しようとする心情を育てる。	▼幸せに生きる権利をもっていることについて、「プランコ乗りとピエロ」と「だれもが幸せになれる社会を」を通して考えることを確認する。 ★考えのちがう者どうしが関わり合って暮らすためには、どんな心が必要なのだろう。 ①他の人の言動を許せないと思うとき、自分はどうかを考え、出し合う。 ②「プランコ乗りとピエロ」を読み、約束の時間を超えて演技を続けるサムを見ながら、ピエロはどんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ③ピエロのサムに対する気持ちはどうして変わったのかを考え、発表する。 ④団員たちの明るい笑い声に包まれた最終日が迎えられたのは、サムとピエロ、そして団員たちの心がどのように変わったからか考え、話し合う。 ▼「考えるヒント」(こんな活動で考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ▼「だれもが幸せになれる社会を」を学んだ後、教科書 P146・147 のコラム「子どもの権利条約」を読み、誰もが幸せに生きるために大切なことについて、さらに考えを深める。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○広い心で相手の思いや立場を尊重しようとするこについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 立場や考えが異なる相手に対して、自分はどのような気持ちで接しているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達のを聞いて、対立する考えの者どうしが相手を理解し、協力していくために大切なことについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 立場や考えが異なるために対立する相手に対して、これから自分はどのように接していこうかと考えている。	国語科 いじめ問題 共生
	12月 (3)	【公正・公平な社会をめざして】 C (13) 公正、公平、社会正義 27 だれもが幸せになれる社会を	ハンセン病の歴史や元患者のきみ江さんの姿などを通して、誰もが幸せになれる社会とはどのようなものか考えさせ、差別や偏見をもたず、公正、公平な態度で正義の実現に努めようとする実践意欲を育てる。	★だれもが幸せになれる社会とは、どんなものだろう。 ①「幸せ」とはどんなものか考え、出し合う。 ②「だれもが幸せになれる社会を」を読み、ハンセン病の元患者たちの宿泊を断ったホテルのどんな考えが間違っているのかを考え、発表する。 ③きみ江さんは、どんな思いで「人が同じあやまちをくり返さないよう」と言っているのかを考え、話し合う。 ④誰もが幸せになれる社会とはどのようなものなのか、また、そのような社会を実現するためにはどんなことが必要なのかを考え、話し合う。 ▼教科書 P189 の「学びの道具箱」(シャッフル対話)を適宜、活用する。 ▼きみ江さんの生きる姿が描かれた本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○差別や偏見をもたず、公正、公平な態度で正義の実現に努めようとするこについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 多数ではない立場の人に対してどのような考え方をしていたかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 社会的な差別や偏見が起きる背景や、それを乗り越えることの大切さなどのさまざまな面から、誰にでも公正、公平な社会についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 差別や偏見を許さない姿勢の大切さを踏まえて、誰もが幸せになれる社会の実現のために、どんな意識をもつことが大切かと考えている。	社会科 図書館活用 いじめ問題 共生 社会参画に関する教育
	適宜	★コラム★ 〈共に生きる〉 子どもの権利条約 B (11) 相互理解、寛容／C (12) 規則の尊重／C (13) 公正、公平、社会正義				社会科 図書館活用 いじめ問題 共生 社会参画に関する教育
	○「学習のまとめ」を振り返った評価(9～12月) ここまでで学んだ、【A (3) 節度、節制】【A (2) 正直、誠実】【B (9) 礼儀】【B (10) 友情、信頼】【C (16) よりよい学校生活、集団生活の充実】【D (19) 生命の尊さ】【B (8) 感謝】【C (15) 家族愛、家庭生活の充実】【C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【A (6) 真理の探究】【C (18) 国際理解、国際親善】【C (14) 勤労、公共の精神】【A (4) 個性の伸長】【B (11) 相互理解、寛容】【C (13) 公正、公平、社会正義】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。					

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分の生き方を見つめるって？	1月 (2)	【自由とは】 A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任 28 (29) 「自由」って、 何だろう	「自由」について多様な考えを出し合い、「自由」とは何かを考える活動などを通して、「自由」についての考えを深め、友達と考えた「自由」の本質を、これからの自分の生き方に生かそうとする心情を育てる。	★「自由」について、考えを深めよう。 ①教科書P172の手順に沿って、「自由」とは何かをグループで考える。 ②「自由」について、みんなで考えてよかったことや、新しく発見したことを発表する。 ③巻末「学びの記録」に記入する。	○対話を通じて「自由」の本質について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 「自由」とはどのようなものか、これまでの自分の経験や見聞きしたことなどを基に考えている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自由について、自由と自分勝手との違いや、自由に伴う自己責任の大きさなど、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自由について、多面的・多角的に理解したうえで、自律的で責任のある行動を取るようにはしていこうと考えている。	国語科 共生
	1月 (3)	【自分の心に誠実に】 A (2) 正直、誠実 29 (15) 手品師	大舞台での活躍と子どもと交わした約束との間で心が揺れる手品師の姿などを通して、「誠実に生きる」とはどういうことかを考えさせ、相手にも自分自身にも誠実に、明るい心で過ごそうとする心情を育てる。	★「誠実に生きる」とは、どういうことだろう。 ①誰かと約束をしたのに守れなかったことがあるかを振り返り、出し合う。 ②「手品師」を読み、友人の「いい話」を聞きながら、手品師はどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③手品師は、どんな思いでたった一人のお客様の前で手品を演じたのかを考え、話し合う。 ④「誠実に生きる」とはどんな生き方のことだと思うかを発表する。 ▼人々から誠実さがなくなると、世の中はどうなるかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○相手にも自分自身にも誠実に、明るい心で過ごそうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、誠実に行動しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えを基に、自分に誠実であるとはどういうことかについて、自分の見方を広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 誠実に生きるとはどういうことかを考え、自分のこれからの在り方について考えている。	
	1月 (4)	【きまりの意義】 C (12) 規則の尊重 30 お客さま	きまりを守ってほしい遊園地の係員ときまりを守らない客の対立を見た「わたし」の姿などを通して、きまりは何のためにあるのかを考えさせ、互いの権利を大切にし、きまりを進んで守ろうとする判断力を育てる。	★きまりは、何のためにあるのだろう。 ①「権利」と「義務」という言葉の意味を確認する。 ②「お客さま」を読み、「お客さまなんですよ。」という男の人の言葉を聞いてびっくりした「わたし」はどんなことを思ったかを考え、発表する。 ③ショーの会場を後にして、「わたし」はどんなことを考えていたかを想像し、話し合う。 ④きまりは何のためにあるのかを考え、話し合う。 ▼教科書P188の「学びの道具箱」(ピラミッドチャート)を適宜、活用する。 ▼「公園のきまりを作ろう」と本時で学んだことをつなげて考える。 ▼「権利を大切にし、義務を果たす」とはどういうことか考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○互いの権利を大切にし、きまりを進んで守ろうとすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の権利を優先して、きまりを破ってしまうことはないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 きまりが守られなかったときの影響や、きまりがあることのよさなどのさまざまな視点から、きまりの意義についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 それぞれの人に権利があることやきまりの意味を意識したうえで、それを自分の生活にどのように生かせるかと考えている。	法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分の生き方を見つめるって？	2月 (1)	【その人のために】 B (7) 親切、思いやり 3 1 (2 2) 最後のおくり物	俳優を目ざす貧しいロペーヌと、ロペーヌに密かにお金を届け続けるジョルジュじいさんとの交流を通して、心からの思いやりや親切とはどんなものかを考えさせ、思いやりの心を大切にしようとする心情を育てる。	★心からの思いやりや親切とは、どんなものなのだろう。 ①これまでに、どんなときに人の思いやりを感じたかを振り返り、出し合う。 ②「最後のおくり物」を読み、「せっかくここまで来たのに——。」とくちびるをかんたとき、ロペーヌはどんなことを思っていたかを考え、発表する。 ③ロペーヌがジョルジュじいさんからもらった「最後のおくり物」とは、どんなものかを考え、話し合う。 ④ジョルジュじいさんからの最後の手紙を読んで、ロペーヌはどんなことを決意したかを考え、発表する。 ▼「10 今度は、ぼくの番」と本時で学んだことをつなげて考える。 ▼「考えるヒント」(道徳で使う言葉)を読み、発表や話し合いの場面で活用する。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○思いやりの心を大切にしようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 人からの思いやりや親切について、自分はどのような考えをもっていたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、相手の立場に立った思いやりの在り方について、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手のためになるような思いやりについて自分なりの考えをもち、自分にはどんなことができるかを考えている。	キャリア教育
	2月 (2)	【感謝の心を伝えるために】 B (8) 感謝 3 2 (2 1) 五十五年目の恩返し	ユダヤ人やその子孫たちが、55年も昔に命を助けられたことを忘れず、恩返しをした話に感動するまことの姿などを通して、感謝の心とはどういうものかを考えさせ、人々の支えに感謝し、応えようとする実践意欲を育てる。	★感謝の心とは、どういうものだろう。 ①阪神・淡路大震災について、知っていることがあるかを確認する。 ②「五十五年目の恩返し」を読み、ユダヤ人たちはどのような思いから神戸への援助を申し出たのかを考え、発表する。 ③まことは、ユダヤ人たちの感謝の気持ちを知り、どんなことを思ったかを想像し、話し合う。 ▼社会科で第二次世界大戦について学習したことを思い出す。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○人々の支えに感謝し、その恩に応えようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 日々の生活の中で、自分を支えてくれる人やものにどんな気持ちを抱いているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞き、人と人との間にある善意に対する感謝の在り方について、さまざまな面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 多くの人々の支えがあって今の自分があることを踏まえ、自分は周囲の人たちの善意にどう応えたらよいかを考えている。	社会科 共生 国際理解教育
	2月 (3)	【かけがえのない命】 D (19) 生命の尊さ 3 3 (3 2) 恋ちゃん——はじめての「みとり」	大好きだったおおばあちゃんをみとる恋ちゃんの姿を通して、命のすばらしさとはどのようなことかを考えさせ、限りある生命のかけがえのなさを自覚し、生命を尊重しようとする心情を育てる。	★命のすばらしさとは、どのようなことだろう。 ①「みとり」という言葉を聞いたことがあるか、振り返る。 ②「恋ちゃん——はじめての『みとり』」を読み、初めての「みとり」を経験して、恋ちゃんはどんなことを感じたかを考え、出し合う。 ③この話を読み、命についてどんなことを考えたかを話し合う。 ▼「12 命の旅」や「24 命のかがやき」と、本時で学んだことをつなげて考える。 ④巻末「学びの記録」に記入する。	○命のすばらしさとはどういうことかについて、さまざまな側面から考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 死について、自分はどんな意識をもっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 命の有限性や命のつながりなど、さまざまな面から命のかけがえのなさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 生命のかけがえのなさについて理解を深めたうえで、自分や他者の命にどのように向き合おうかと考えている。	図書館活用 共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分の生き方を見つめるって？	3月 (1)	【目標に向かって】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 3 4 (4) 大きな目標をもって —— 西山 麗	大きな目標を立て、実現を目ざして地道な努力を続ける西山麗さんの姿などを通して、物事に挑戦するときに支えとなるものは何かを考えさせ、目標に向かってくじけずに努力し、実現しようとする心情を育てる。	★物事に挑戦するとき、自分を支えてくれるものは、何だろう。 ①目標をもって何かに挑戦した経験を振り返り、出し合う。 ②「大きな目標をもって——西山 麗」を読み、齋藤さんの言葉は西山さんに何を与えてくれたかを考え、出し合う。 ③これまで西山さんを支えてきたのはどんな思いかを考え、話し合う。 ④西山さんの生き方からどんなことを学んだかを考え、発表する。 ▼挑戦し続けた人たち(ヘレン=ケラー、松下幸之助、松井秀喜、浅田真央)の本を読む。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○目標に向かってくじけずに努力し、実現しようとする心の大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分で立てた目標の達成を目ざして、困難があってもくじけずに努力しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 物事に挑戦するときに自分を支えてくれるものには、自分自身の強い意志や実行力だけでなく、他者との関係など、さまざまなことがあることに考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 物事に挑戦するときに、苦しくてもくじけずに努力してやり抜こうと気持ちを新たにしている。	体育科 図書館活用 キャリア教育
	3月 (2)	【生きる喜び】 D (22) よりよく生きる喜び 3 5 アンパンマンが くれたもの	東日本大震災のときに「アンパンマンのマーチ」がなぜ、人々の心を動かしたのかを考えることなどを通して、「生きるよろこび」とは何かを考えさせ、人間の強さや気高さを理解し、よりよく生きようとする心情を育てる。	★「アンパンマンのマーチ」から見えてくる「生きるよろこび」とは、何だろう。 ①「アンパンマンのマーチ」を知っているかを確認する。 ②「アンパンマンがくれたもの」を読み、「アンパンマンのマーチ」にある「生きるよろこび」とはどのようなものかを考え、発表する。 ③「アンパンマンのマーチ」の何が人々の心を動かしたのかを考え、話し合う。 ④自分の「生きるよろこび」は何かを考え、発表する。 ▼やなせたかしさんが作詞した「手のひらを太陽に」の歌詞には、どんな思いが込められているかを考える。 ⑤巻末「学びの記録」に記入する。	○人間の強さや気高さを理解し、よりよく生きようとするものの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分にとっての生きる喜びとは何かについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 人の強さと弱さの両面から、誇りある生き方、夢や希望など喜びのある生き方についての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも「生きるよろこび」を感じていきたいという気持ちを抱いている。	音楽科 図書館活用
○「学習のまとめ」を振り返った評価(1～3月)						
ここまでで学んだ、【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【A (2) 正直、誠実】【C (12) 規則の尊重】【B (7) 親切、思いやり】【B (8) 感謝】【D (19) 生命の尊さ】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【D (22) よりよく生きる喜び】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
○「後期」を振り返った評価(10月3週目～3月)						
ここまでで学んだ 【B (8) 感謝】【C (15) 家族愛、家庭生活の充実】【C (17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【A (6) 真理の探究】【C (18) 国際理解、国際親善】【C (14) 勤労、公共の精神】【A (4) 個性の伸長】【B (11) 相互理解、寛容】【C (13) 公正、公平、社会正義】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【A (2) 正直、誠実】【C (12) 規則の尊重】【B (7) 親切、思いやり】【B (8) 感謝】【D (19) 生命の尊さ】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【D (22) よりよく生きる喜び】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びの記録」にある児童の書き込みや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						